

平成26年度事業計画

1. 防錆に関する調査研究を行う事業

1.1 防錆防食材料部会

防錆防食材料部会（部会長 出光興産(株) 長瀬直樹殿）は、正会員のなか、防錆油剤、気化性防錆材料、ペトロラタム系防食テープ、自動車用ケミカル用品の生産者、取扱者で組織する会で、それぞれ防錆油分科会（分科会長 パーカー興産(株) 田中徳治殿）、気化性防錆材料分科会（分科会長 菱江化学(株) 田中順一殿）、被覆防食材料分科会（分科会長 日東電工(株) 綾木 長殿）、自動車用化学製品分科会（分科会長 出光興産(株) 長瀬直樹殿）の4分科会で構成されている。

気化性防錆材料分科会は、協会が実施している「鉄鋼用防せいフィルムJIS新規原案作成委員会」に生産者の組織として技術的知見並びに試験データの提供など、積極的に協力したい。

また、各分科会の専門分野に関連する講演会を開催し、会員の技術向上と相互交流をはかりたい。

1.2 溶射部会

溶射部会（部会長 独立行政法人海上技術安全研究所 植松 進殿）は、防錆防食溶射の施工技術並びに皮膜品質の向上を図ることを目的に活動するとともに、昭和61年に開始した溶射鋼管杭の暴露試験を継続し、28年目を迎える鋼管杭及び10年目を迎える補修溶射鋼管杭についても試験を継続し、経過観察を行いたい。

また、講師を招いて溶射皮膜の評価法、施工事例などセミナーを企画、開催したい。

2. 防錆に関する技術者の養成を行う事業

2.1 防錆技術学校

防錆防食専門技術者を養成するため、通信教育「第54回防錆技術学校」を経済産業省、国土交通省、中小企業庁、日本商工会議所の後援を得て実施したい。

教育の内容は、専門分野別に施設防食科、防錆塗装科、防錆塗装科別科、めっき科、防錆包装科の5科で構成し、講師には産学官界より有識者75名を迎えて開講したい。

平成22年度から実施している「教材改訂5カ年計画」事業を着実に遂行するため、教材改訂委員会（委員長 日本大学 大野 茂殿）を引き続き開催し、共通課程教科書の抜本改訂を実施したい。

なお、専攻課程の教科書改訂については、本事業の修了年度である平成26年度を更に1年延長して推進したい。

2.2 防錆管理士会

防錆管理士に認定された方々で組織する防錆管理士会（会長 日本大学 大野 茂殿、幹事長 ㈱竹中工務店 長谷川 完殿）は、東日本、東海、西日本、九州、沖縄の5支部で、講演会、見学会等の行事を開催しており、引き続き平成26年度も計13回の行事を実施したい。

また、防錆管理士会総会を大阪において開催したい。

3. 防錆に関する日本工業規格及び国際規格の制定及び普及に協力する事業

3.1 国際規格

平成5年より継続して実施しているISO（国際標準化機構）/TC（専門委員会）35（ペイント及びワニス）/SC（分科会）12（塗料・関連製品施工前の鋼材の素地調整）にかかわる国際規格に対応するため、委員会を組織したい。

また、ブラスト処理用非金属系研削材の国際標準開発として補助を受け、日本のフェロニッケルスラグ、フェロクロムスラグを提案するとともに、回答原案を作成回答し、積極的に国際会議に参加したい。

3.2 日本工業規格

平成25年12月から一般財団法人日本規格協会の協力を得て実施している鉄鋼用防せいフィルムJIS新規原案作成委員会（委員長 地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所左藤眞市殿）は、引き続き平成26年度も委員会を開催し、平成26年10月末の期限内にJIS原案を答申したい。

また、JIS Z 0310（素地調整用ブラスト処理方法通則）、JIS Z 0312（ブラスト処理用非金属系研削材）について、平成26年4月から一般財団法人日本規格協会の資金協力を得て改正原案の作成を行うなど、国内外の標準化事業についての公益的事業を実施したい。

4. 防錆に関する参考図書及び資料を作成し、又はこれらを配布する事業

4.1 機関誌「防錆管理」

機関誌「防錆管理」は、編集委員会（委員長 岡 襄二殿、副委員長 村瀬正次殿、江成孝文殿、加藤 敬殿）の企画編集により、第682号から第693号まで毎月発行し、防錆防食の専門分野ごとの記事と「連載解説」、「講座」、「防錆防食文献リスト」を掲載するなど、我が国の防錆技術向上に資する技術誌を発行したい。

なお、編集委員会の構成は、有識者と各専門部会の代表並びに支部の代表で構成したい。

また、月刊「防錆管理」を国公立研究機関、公設図書館、関係学協会など100を超える機関に無償配布し、防錆技術の啓蒙活動に役立てたい。

4.2 書籍販売

機関誌「防錆管理」に連載した講座を再編集して出版するほか、既存の出版物の拡販に努めたい。

5. 防錆に関する文献、資料及び情報の収集整理を行い、これを閲覧に供する事業

5.1 第34回防錆防食技術発表大会

第34回防錆防食技術発表大会実行委員会（委員長 阿部正美殿、副委員長 原田佳幸殿）を組織し、平成26年7月10日、11日の二日間、東京・五反田の「ゆうぼうと」において開催したい。

一般発表、特別講演2件、「いまさら聞けない用語」解説のほか、事例発表を集め、生産技術、メンテナンス、新施工法などの幅広い内容で、研究者・技術者に対し、発表・聴講の場を提供し広く防錆防食技術の発展普及に努めたい。

広報は、ダイレクトメール、ホームページ並びに機関誌の会告欄を通じて広範な分野の技術者、研究者に通知するほか、37の関係団体の協賛を得て各団体を通じての広報にも努

めたい。

また、若手技術者優秀発表賞を設け、若手の育成に貢献したい。

5.2 インターネットによる情報の提供

ホームページ(www1.sphere.ne.jp/jacc/)を通じて、引き続き以下の情報を提供し、情報公開、会員サービスを行いたい。

(1) 事業報告、収支決算書及び事業計画、収支予算書

(2) 協会事業

防錆技術学校の案内

防錆防食技術発表大会の案内

講演会、見学会など行事の案内

出版物の案内

防錆管理士資格者の所在不明者調査

その他

6. 防錆に関する参考材料の展示を行う事業

第34回防錆防食技術発表大会において、新製品・施工技術の紹介を行うセッションを設けるとともにカタログコーナーを設置し、会員をはじめとする企業の製品、技術の最新情報を大会来場者に提供したい。

7. 防錆に関する技術相談を行う事業並びに研究の受託及び委託を行う事業

会員からの防錆防食に関する試験依頼を受託し、試験設備を保有する関係団体と連携してこれに応えたい。また、会員からの技術相談にも応じたい。

8. 防錆に関する技術向上のための発明、研究に対し顕彰を行う事業

次の各賞ほかに、会員から候補を募り推薦したい。

(1) 一般財団法人 機械振興協会(新機械振興賞)

(2) 公益財団法人 スガウェザリング技術振興財団(スガウェザリング技術振興財団表彰)

(3) その他

9. 防錆に関する事項について国会、政府その他に対し意見を開陳する事業

「公共建築工事標準仕様書」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)ほかの仕様書並びに指針の改正に際し、政府関係機関から改正意見を求められた場合、これに応えたい。

その他必要に応じ、防錆技術に関する意見を政府その他の機関に対し、開陳してゆきたい。

10. 本会の目的を達成するために必要な事業

10.1 支部事業

中部支部、関西支部、沖縄支部の3支部がそれぞれの地域の特徴を生かし、各支部の総会で議決された事業計画に基づき、講演会、講習会、見学会などの各種事業を実施したい。

10.2 関係学協会との協力事業

(1) 関係学協会が主催する防錆防食技術関連の行事を協賛又は共催し、広く産業技術の発展に寄与したい。

(2) 関係学協会が主催する委員会等に役職員を派遣して協力したい。